

平成 30 年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和元年 5 月 14 日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：伊良部島

協定対象漁業集落名：佐良浜漁業集落

協定参加世帯数：142 世帯（147 人）

（うち漁業世帯数：112 世帯（117 人））

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、良好な漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や漁業の再生に関する実践的な取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、佐良浜集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

漁業被害をもたらしているためサメ駆除を実施し、漁業被害の軽減及び安全操業を図ることとした。また、パヤオ作製・設置を実施し、カツオー一本釣り漁業等の操業安定化を図ることとした。



サメ駆除



パヤオ

(別紙2)

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

流通体制の改善の取り組みでは、畜養に関する視察を行い、荒天にも漁獲物販売が行えるよう取り組んだ。また、一般市民への魚食普及に向けたイベント（お魚まつり）を実施し、水産物の消費拡大を図ることとした。



流通体制改善（視察）



魚食普及（お魚まつり）

4. 取組の成果

漁場の生産力の向上に関する取組においては、サメ駆除の実施により漁業被害の軽減及び安全操業の確保が図られた。また、パヤオ作製・設置を実施し、宮古島市のカツオの漁獲量は平成27年から平成29年の3年間の平均水揚量が約526トンと安定的に推移しており、カツオ一本釣り漁業等の操業安定化が図られている。

漁業の再生に関する実践的な取組については、畜養に関する視察やツムブリの出荷調整のための畜養試験を行い流通体制の改善を図った。また、お魚まつりを開催し、カツオ・マグロを1,668kg販売したことや普段水産物に触れる機会の少ない市街地の住民との交流が図られ、地元水産物の消費拡大を図った。